

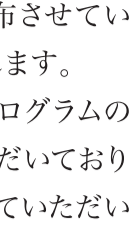
週報 第3210回

会長 上田 秀明 **副会長** 渡辺 万寿
幹事 西田 佳郎 **SA** 西端 政博

例会場 ホテルレイガルスターアルザ泉大津
T E L 0725-20-1121
例会日時 毎週金曜日 12 : 30 ~ 13 : 30



事務局 TEL.595-0062 泉大津市田中町10-7 泉大津商工会議所3F
FAX.0725-21-9501
FAX.0725-21-9501
メールアドレス info@izumitsu-rc.org
ホームページ http://izumitsu-rc.org



今週の例会 (2023年7月14日)

■ フログラム

クラブアッセンブリー
各部門リーダー理事 財団・米山委員長

■ 次週のプログラム

7月21日 : 卓話担当 松村 泰英 会員

■ 今後の予定

7月28日 : ガバナー公式訪問

■ 祝 誕生日

なし

■ 今月のローターソング

それでこそローター

| 今月の歌 | |
|----------|----------|
| 知床旅情 | |
| 知床の岬に | はまなすの咲く頃 |
| 思い出してくれ | 俺達のことを |
| 飲んで騒いで | 丘に登れば |
| はるかクナシリに | 白夜は明ける |

■ 先週の例会

幹事報告

西田 佳郎 幹事

○本日皆様のメールボックスに、ローターの友と、皆様のテーブルの方にガバナー月信を配布させていただきました。誠にありがとうございます。一読お願ひ致します。2023(7)~2024年度組織図と年間プログラムの半期分(7月~12月)も入れさせていただきます。あと、会員証の方も、本日配布させていただきます。

○来週7月14日(金)の例会は、クラブアッセンブリーとなっておりますので、各担当理事はよろしくお願ひ致します。尚、当日は、ゲストに北野ガバナー補佐が来られますので、よろしくお願ひ致します。

○本日例会終了後、理事役員会を開催致します。

委員会報告

ローターの友7月号の読みどころの紹介。
(今井 克範 会報・IT委員長)

■ ビジター

なし

IZUMIOTSU ROTARY CLUB 第3210回

■ 出席報告 会員数43名 出席免除0名

| 月日 | 出席数 | 欠席 | 補充 | 出席率 |
|------|-----|-----|----|--------|
| 7/7 | 33名 | 10名 | — | 76.74% |
| 6/23 | 35名 | 7名 | 2名 | 88.10% |

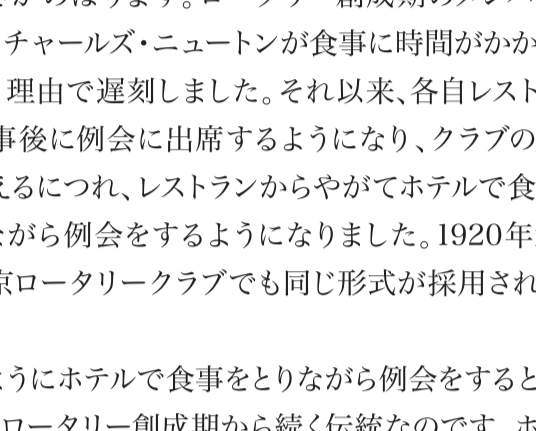
■ メークアップ

榎本(7/3 ワールド大阪ローターEクラブ)
中(6/15 羽衣大)

■ ニコニコ箱

・本年度一年よろしくお願ひします(上田)
・上田会長、最終例会親睦打ち上げご祝儀ありがとうございました。本年度1年間どうぞ宜しくお願い致します。川崎様、岡本様、入会おめでとうございました。(西田)
・1年間宜しくお願ひします。川崎様、岡本様、入会おめでとうございました(西端)

先週のプログラム



新年度会長挨拶 上田 秀明 会長

皆さんこんにちは、今日から新しいローター一年度が始まります。
本年度、会長を務めさせていただきます上田秀明です。
ローター一年度はなぜ7月から始まるのか?皆さん不思議に思ったことはありませんか?
1910年8月に国際ロータークラブ連合会の第1回大会が開催され、それ以降8月開催が恒例となりました。

余談はさておいて、ではいつからローターではホテルで食事をとりながら例会をするようになったのでしょうか?これはほとんどローターの創成期1905年までさかのぼります。ローター創成期のメンバーのひとりチャールズ・ニュートンが食事に時間がかかったという理由で遅刻しました。それ以来、各自レストランで食事後に例會に出席するように、クラブの人数が増えるにつれ、レストランからやがてホテルで食事をとりながら例會をするようになりました。1920年創立の東京ロータークラブでも同じ形式が採用されました。

このようにホテルで食事をとりながら例會をするというのは、ローター創成期から続く伝統なのです。ホテルがないところでゴルフ場を例會をしているクラブもあります。2640地区では橋本ロータークラブがそうです。ですから皆さん、この良き伝統を守るために、欠席の場合の連絡は早い目にお願ひします。これは私からお願いしたいです。食事が無駄にならないようにしたいのです。お願ひしたい大阪市内のホテルの乾杯のシャンパン代はひとり500円から1000円です。有効にクリスマス例會や家族例會で使いたいです。

今、西端SAがラインやショートメールを使った新しい連絡網の確立のために奮闘しています。緊急時の連絡も今までのように電話でやります。親睦委員会メンバーの負担となります。どうぞ皆さん、ご理解とご協力をお願いします。
本日は年度初めということでもありますが、まずはローター一年度はなぜ7月から始まるのか?ローターの例會はなぜホテルでするようになったのか?をご紹介します。

続きましては、今年度のRI会長とそのテーマについてです。3月19日のOPETTS(会長エレクト研修セミナー)、4月16日の地区研修・協議会でもあまり詳しく説明されていることがなかったのですが、簡単に触れたいと思います。本日の「ローターの友」でも特集が組まれています。どうかそれを読んでください。これは私の書いた谷宗光の著、そちらをお読みください。2640地区の谷宗光さんとそのテーマについても簡単に説明したいと思います。このふたつは今日の話の必須項目なのでお付き合いください。

2023-24年度のRI会長はスコットランドのゴードンR.マッキーナー氏です。

トにならぬうちにデザインが変わったことを非常に残念がっていました。当クラブの創立65周年記念誌には、1978年6月24日、ロータークラブ創立総会開催とあります。1978年ですからちょうど森口和信会員の父上の森口千代治元会長が会長をなされた年に当たります。ほとんど父の命令で私はローターアクトに入る羽目になりました。今回ぐらゐい合会に行ったらと記憶しています。ところが、ある日、ダンスパーティーをするというお願ひがありました。

私はここは私のおとところではないと思ひ、それ以後いなくなりました。曲がりながらも私がローターアクト出身の初めての会長です。その数年後、川上睦夫元会長が、ひよっぴり会社へやってこられました。

川上睦夫元会長が言うに、「世の中にはローターアクトよりもっと面白いところがある。わしが、その面白いところへ連れて行ってやろう。」

それから40年になるまでJC(青年会議所)でお世話になることとなりました。不安な面持ちで初めてJCの合会に行きますと、川上正人元会長が温かく迎えてくれました。そしてロータークラブへ始めていく日でもまたもやおられ、顔を見て、ほっとしたのを覚えています。

私の父は、1929-93年度泉大津ロータークラブ会長を務めさせていただきました。当時、角谷一郎元会長、今井章三元会長、加藤万純元会長が頻りに会社にやってきました。どうやら父は、これらの会員と一緒に、カナダのどこかの都市でおこなわれた世界大会に参加したようです。その時の様子やまわれた道中よろしく楽しく話していたことを記憶しています。

そんな父も平成20年に他界しました。葬儀の後、嶋田繁元会員のすずめにより、ロータークラブ例會に会葬の御礼に來させていたいただいた折のことです。そのころまだ白谷利也元会長が元気であいらして、「ご苦労様、昼めは食べたか?よかったですら食べて帰らへんや?なんやったら毎週来て食べてもらってもいいんや?」と何やら意味深な発言。「いや、もういいです。きました。」とその場はとっさに答えました。しかし、「一緒に昼めし食べたか?」とまたもや奇妙そ天然なる

津の先輩方の賢明な選択であった。」
他クラブの会長から自分のクラブの長所を教えられるのも不思議な話ですが、確かに手振クラブというのは、こじんまりとした市の面積も手振って、纏めたいと思います。あえて「仲のいいクラブ」とは言いません。「仲のよいクラブ」という表現は対外的に誤解を招く恐れがあり、期待されている答えではないからです。他クラブが羨む纏りの良さ、私はこれを「One City,One Club」と呼びたいと思います。纏りの良さは泉大津ロータークラブの宝です。いつまでも大切にしたいと思ひます。

長所もあれば当然短所もあります。2008～2010年に30～40代という年齢層が更新されにくいです。これは歴史のあるクラブほど陥りやすい現象です。例えば、和歌山ロータークラブより後からできた市の他のクラブのほうからローター情報更新に積極的にあつたりするのです。私はこれをローター情報のリアップログ現象と呼んでいます。カエル飛びのようにカエルが途中過程をパスして次の高いレベルへ到達するという意味で使われます。ただし大阪ロータークラブだけは別格です。ローター情報の更新にも積極的ですし、それを消化するのみ食飲です。私は在任中できる限りローター情報更新に努めたいと思ひます。ただし、次の定款・細則改定には関わりません。最近、誤字脱字が多くなりました。頭はついていっていても目につかないのです。2022年度定款・細則も、最後の差修分は西田幹事の力を借りようやく完了した次第です。どうぞ、次回は若い世代の方でお願いします。

前回か、前々回の卓話では「ローターは分らない面持ちで聞かれている会長経験者もいらしたことは記憶しています。私が卓話でしゃべった内容は特徴的なのではありません。どちらかと言えば全国各地のローターに普通通に議論されている内容だと思ひます。それに「ローターのライオンズ化」はなにも最近始まったことではないと思ひます。進行している現実とそれを認めたくなる心構えは全く別物です。

いみじくも、1987年のRI理事会から出された職業奉仕に関する声明では、職業奉仕はクラブと会員個人の

理念も奉仕プログラムもライオンズと似かよってきたローターはいつだってどこへ行くかというのではいまいか?それについて2680地区のバスターガバナー田中毅氏がある予想をしているので、ほとんどSFの世界で観てお聞きください。

皆さんの中にはライオンズの道德綱領をご覧になった方はいらっしゃいますか?私はこれを見たとき、ある意味懐然とします。それは、これ、このまま「ローター」の行動規範、のかわりに使えんじやないか?と思ったからです。

ローター」の行動規範」というのは、例が適切でないかもしれませんが、浄土宗や浄土真宗においての南無阿弥陀仏に相当するものです。難しいことは言わぬ。そんな感じですかね?職業奉仕の哲学を簡単に5項目にまとめたものです。職業奉仕の哲学はローター独自のものではなかったですか?私自身もそう感じます。会員資格は、これも以前にご紹介しましたが、今や事実上無職でも入会可能となりました。それがローターの奉仕の理念に賛同し、会費を払って活動してくれる人となると、なかなか現れないか実情です。

職業分類表に至ってはほぼ有名無実で実情です。私の入会は2010年です。その後2015-16年度幹事、2019-20年度副会長と65周年記念誌にはあります。私が幹事を務めた当時、あるクラブからうちの組織についてのお問ひ合わせがありました。その時、そのクラブの実情をおたずねすると、会員40名中10名がドク

ターというのです。まあ、おそらく、外科、内科に始まり、病院経営など、ドクター用に特化した、細分化した職業分類表があるのだと思ひます。この職業分類表、もともとRIでは1963年からクラブ独自に運用して結構な年になります。入会時、正直なところ、私にはローターはライオンズとは似て非なるものという印象でした。おそらく、私より若い会員もそれに近い印象で入会したと思ひました。これは先に挙げた例からすれば、「ライオンズ化したローター」は先に入会した方々から、ある意味当然と言えます。

「あえて今ここで前回はパンドラの箱のふたを開けるのか?」とお嘆きのご貴兄、パンドラの箱のふたはもうとつきの昔にあげられています。過去をモデルにするのではなく、現実を見ようという現実主義ライオンズとは似て非なるとき、「ライオンズ化」の懸念に現実を合わせる方が至難の業だと思ひます。ローターとライオンズ、現在では差がなくなると認めるバスターガバナーも、他地区では、いろいろと聞いています。

それならローター情報を更新しなきゃいけないじゃないか?更新しなきゃライオンズ化は進行しない。ローター情報なんか更新しなくても何ら困らない。 Robertsonの方ではどうでしょう。何も困らないでいいよ。ローター情報更新しなきゃいけないよ。ローター全体は動きからは取り残された、絶滅危惧種の住むガラパゴス諸島のように現実じゃない。そんなローターがたまたまバスターガバナー諸島から出た時の選任の劣勢は目を覆うものがあります。それに対抗してクラブのまとまりはさらに良くなるでしょうね。

理念も奉仕プログラムもライオンズと似かよってきたローターはいつだってどこへ行くかというのではいまいか?それについて2680地区のバスターガバナー田中毅氏がある予想をしているので、ほとんどSFの世界で観てお聞きください。

皆さん、ゾンタ、ソクゾニスト、ソクニストは女性の地位向上と社会奉仕を目指す団体であり、キウニストはアメリカ、インディアナポリスに本拠

IZUMIOTSU ROTARY CLUB 第3210回

ローターの目的

ローターの目的は、意義ある事業の基盤として奉仕の理想を奨励し、これを育むことにある。
具体的には、次の各項を奨励することにある。

- 第1 知り合いを広めることによって奉仕の機会とすること。
- 第2 職業上の高い倫理基準を保ち、役立つ仕事はすべて価値あるものと認識し、社会に奉仕する機会としてロータリアン各自の職業を高潔なものにすること。
- 第3 ロータリアン一人一人が、個人として、また事業および社会生活において、日々、奉仕の理念を実践すること。
- 第4 奉仕の理念で結ばれた職業人が、世界的ネットワークを通じて、国際理解、親善、平和を推進すること。

四つのテスト

= 言動はこれに照らしてから =

1. 真実かどうか
2. みんなに公平か
3. 好意と友情を深めるか
4. みんなのためになるかどうか

IZUMIOTSU ROTARY CLUB 第3210回

地を置く子供のための奉仕に特化した団体です。現在のRI事務総長はロバート・コリス。これらの団体をいずれも吸収する気ではないかというのです。ロータークラブとロータリアン同様に格上げしたのもそのスタートで、野心的にこれらに取らず、ライオンズと並んでいこうとするのだそうです。

察しの方はお気づきでしょう。そう、様々奉仕プログラムを進める過程で自然にそうなるにせよ、いろんな奉仕団体を吸収、統合するに似かよった理念、似かよった奉仕プログラムのほうが都合が良いのです。

そうであれば、もう私たちの知っているローターではなくなるでしょうね。まあ、本当は、実地は、本当は、本気でいこうという人たちです。それに、本田博巳、刀根兵衛といた日本の名だたるバスターガバナーたちが、RIBI事務局長、ジョン・ヒューコを降ろすことと奮闘しています。もちろん2640地区のバスターガバナーたちもそうです。

2022年規定審議会で、先程紹介したR.I.B.I.のように日本全体を1つのゾーンとする案が否決されました。日本のロータリアンたちは日本独自の、職業奉仕をベースとしたローター」の展開に期待を持っていました。

パンドラの箱の神話には実は続きがあります。すべての災いが箱から飛び出した後、残ったものがありました。それは希望です。今のローターにとってそれは何でしょうか?私はそれは例會であると思ひます。例會こそがローターをローターにするもの、ローターの100年以上の歴史の中で唯一変わらなかつたものではないですか?これがローターのコアな部分、肝を言っていてでしょう。

例會は、親睦を通して「奉仕の心の形成」されることです。そのため公開例會や家族例會に代表される例會は、欠席したことを残念がるようにしてはダメにもなり、何よりも楽しく、先に紹介したように他クラブが羨む纏りの感じられるものでなくてはなりません。

ただそれだけで終わると「パンとサーカス」に似たローマ帝国の二の舞です。その結果ローマ帝国はどうなったかは歴史が如実に物語っています。

IZUMIOTSU ROTARY CLUB 第3210回

これについて、ガイ・ガンディーカーが「ローター理解」の中で次のように戒めています。「しばしば、ローターで親睦を図ることが、ローター運動のすべてであるように誤解され、またゆるぎない親睦こそ、ローターが信頼する絶対的条件だと考えているクラブもある。これら二つの立場からの判断には、明らかに批判の余地がある。親睦はローター運動のものではなく、ローターも必要なく、最もが根を張り、成長するための道具であり、最高の土壌にすぎないのである。」

(引用終り)「奉仕の心」とは、簡単に言えば他人のために役に立ちとすることを心算意です。例會が親睦を通して「奉仕の心」を形成する場であるとすれば、これを実践に移すのが奉仕プログラムです。よく言われるように親睦と奉仕はローターの両輪なのです。

全般を通して、ローター目的なもの、ローターらしいことを追及する一年にしたいと思っています。会長の新年度挨拶は以上です。ご清聴ありがとうございました。

なお、原稿には参考資料の記載がありますので、来週会報に掲載されたときにでもご覧ください。

「ローターこぼれ話」山本正治(2660地区バスターガバナー)
「ローターの基本〜研修の手引き〜(2840地区)」本田博巳(前橋R.C)
「最近のローターの変化」刀根兵衛(2650地区バスターガバナー)
「ライオンズ化するローター」矢野宗司(21-22年度2680地区研修リーダー)
「『内向型』と『外向型』わかりやすい職業奉仕」(17-18年度2780地区バスターガバナー委員長)
その他、2680地区バスターガバナー田中毅の著作

「ローターこぼれ話」山本正治(2660地区バスターガバナー)
「ローターの基本〜研修の手引き〜(2840地区)」本田博巳(前橋R.C)
「最近のローターの変化」刀根兵衛(2650地区バスターガバナー)
「ライオンズ化するローター」矢野宗司(21-22年度2680地区研修リーダー)
「『内向型』と『外向型』わかりやすい職業奉仕」(17-18年度2780地区バスターガバナー委員長)
その他、2680地区バスターガバナー田中毅の著作

「ローターこぼれ話」山本正治(2660地区バスターガバナー)
「ローターの基本〜研修の手引き〜(2840地区)」本田博巳(前橋R.C)
「最近のローターの変化」刀根兵衛(2650地区バスターガバナー)
「ライオンズ化するローター」矢野宗司(21-22年度2680地区研修リーダー)
「『内向型』と『外向型』わかりやすい職業奉仕」(17-18年度2780地区バスターガバナー委員長)
その他、2680地区バスターガバナー田中毅の著作